



鹿児島市山形屋での販売の様子



神川新鮮野菜市3周年感謝祭の様子



物産館完成間近！ 名称が決まり、販売体制も整いました

4月14日のオープン控え、現在建設中の物産館の名称が決定しました。

多数の応募の中から「錦江町物産館 にしきの里」が選ばれました。名づけ親は、昨年の夏に地域づくりインターン事業で錦江町に20日間滞在し、地域活動などを体験した金子友美さん（東京都在住）です。

金子さんは錦江町という綺麗な名前をひらがなで柔らかな印象で表現。また、『にしき』は美しいものを例える言葉であり、町のイメージに合うということで考えられたそうです。

「錦江町物産館 にしきの里」が、錦江町の食や観光の新たな情報発信の拠点となることが期待されます。



現在建設中の「錦江町物産館 にしきの里」



設立総会の様子

3月1日、「錦江町物産館 にしきの里」の出荷者協議会設立総会が開催されました。

出荷者協議会は、会長に梶原良雄さん（神川中自治会）が選出され、会員134人で構成されます。

物産館に出品される品物は、地元で生産された野菜類をはじめ、加工品など様々な物が予定されており、今からオープンが楽しみです。